

園名：中央区立晴海幼稚園 所在地：東京都中央区晴海 1-4-1

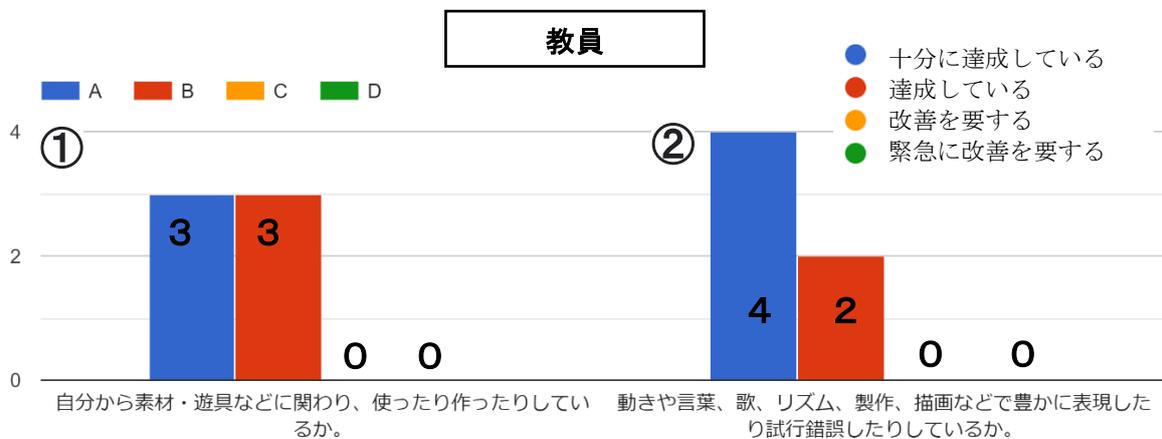
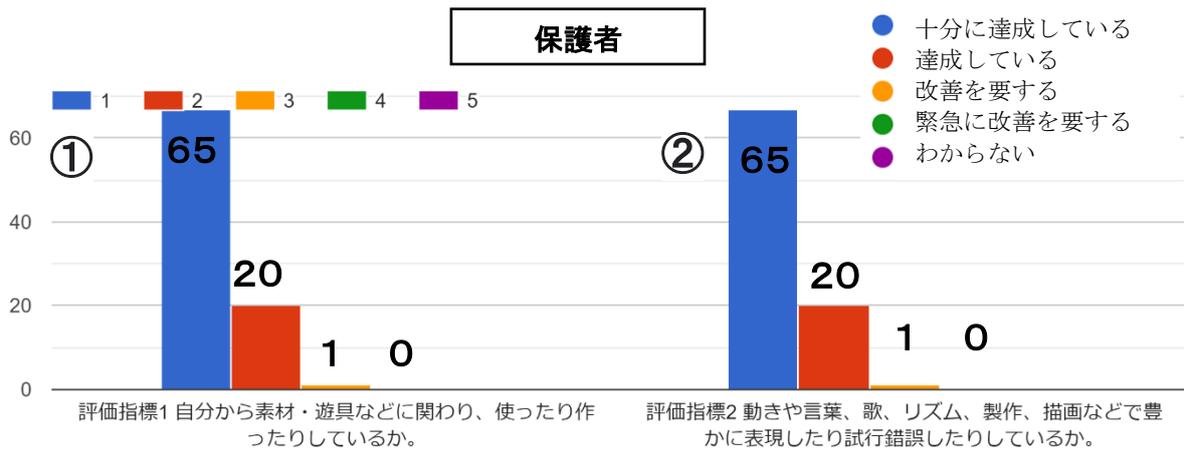
園長名：上竹 陽子 園児数：93名 学級数：5学級 教職員数：14人

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標1 夢中になって生活や遊びに向かう幼児の育成

評価指標①自分から素材・遊具などに関わり、使ったり作ったりしているか。

評価指標②動きや言葉、歌、リズム、製作、描画などで豊かに表現したり試行錯誤したりしているか。



①②ともに「十分に達成している」「達成している」を合わせた割合が9割以上を占めている。

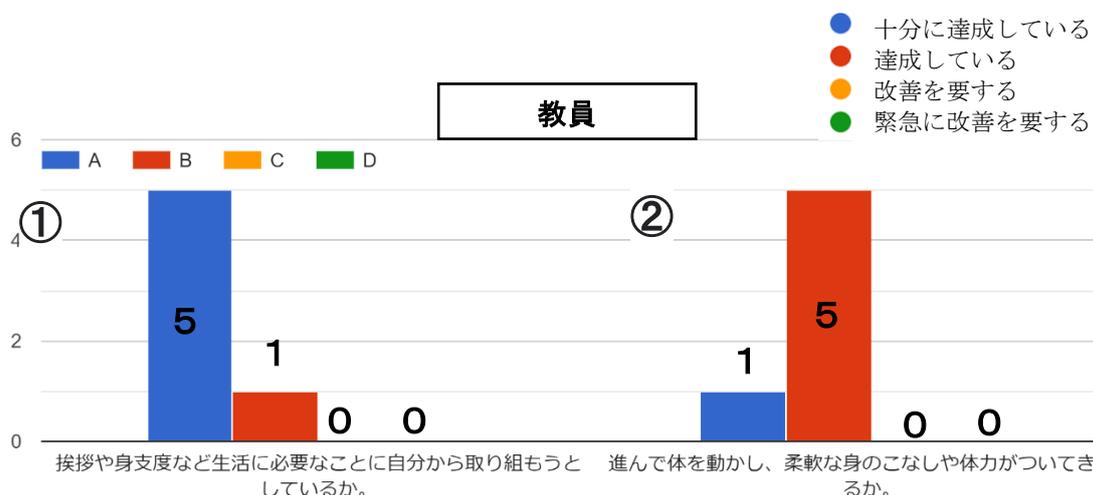
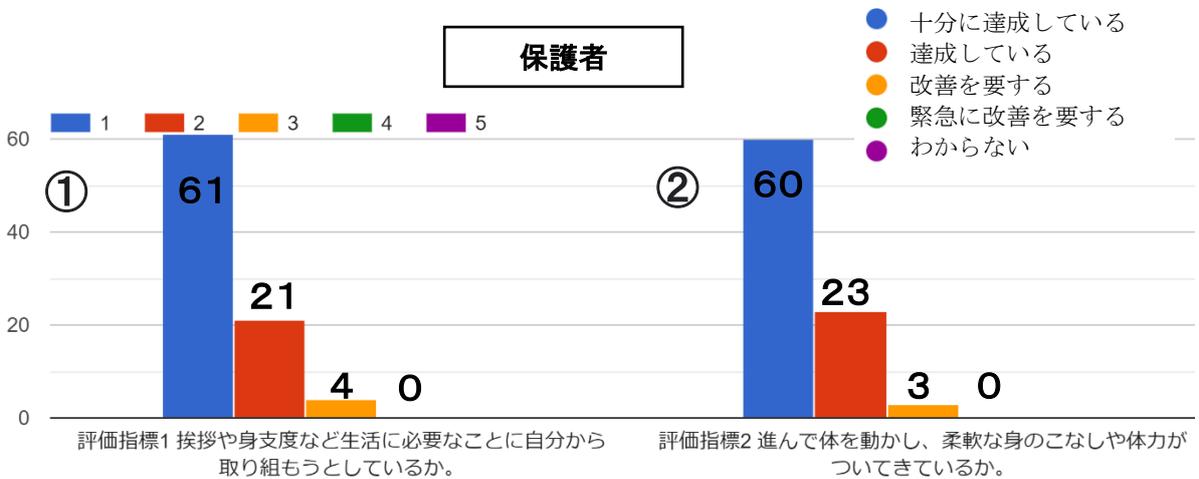
教員・保護者ともに、幼児は学年の発達に応じて、身近な環境に関わり、様々な表現や試行錯誤を楽しみながら、夢中になって遊ぶことができていると捉えていると考える。

今後も発達に即した計画立案と幼児理解に努め、教員自身が「やってみたい」「こうしてみよう」と探究することを楽しみながら、個々の興味・関心にそった生活や遊びが展開できるようにする。

重点目標2 心身共に健康な幼児の育成

評価指標① 挨拶や身支度など生活に必要なことに自分から取り組もうとしているか。

評価指標② 進んで体を動かし、柔軟な身のこなしや体力がついてきているか。



保護者・教員とも、①②ともに「十分に達成している」「達成している」を合わせた割合が9割以上を占めている。

登降園時に親子で一緒に挨拶したり、園での身支度に取り組む姿を伝えたりしてきたことが、幼児は生活に必要なことに気付き、自分で行おうとする気持ちや力が身に付いてきていると保護者が捉えることにつながり、指導の理解が図れたものと考えます。

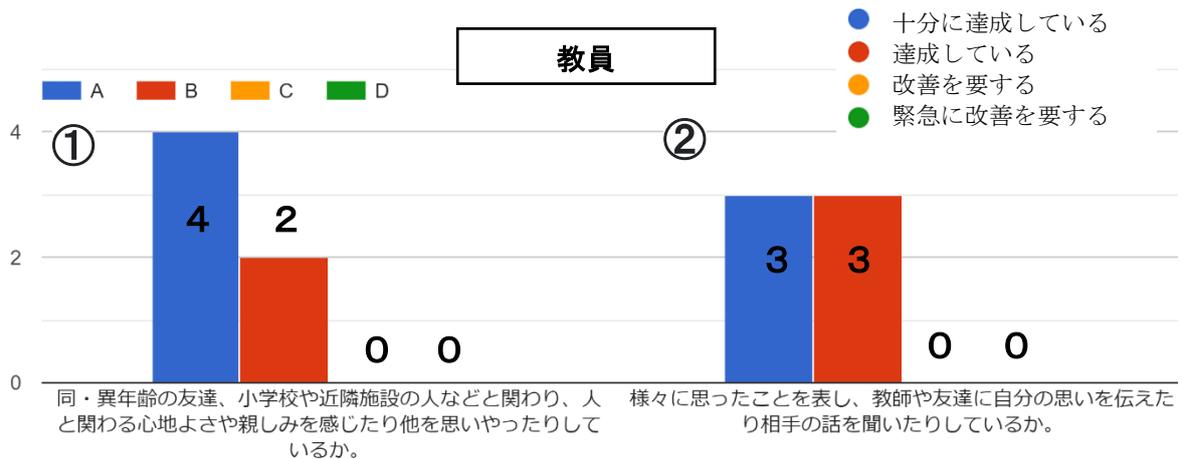
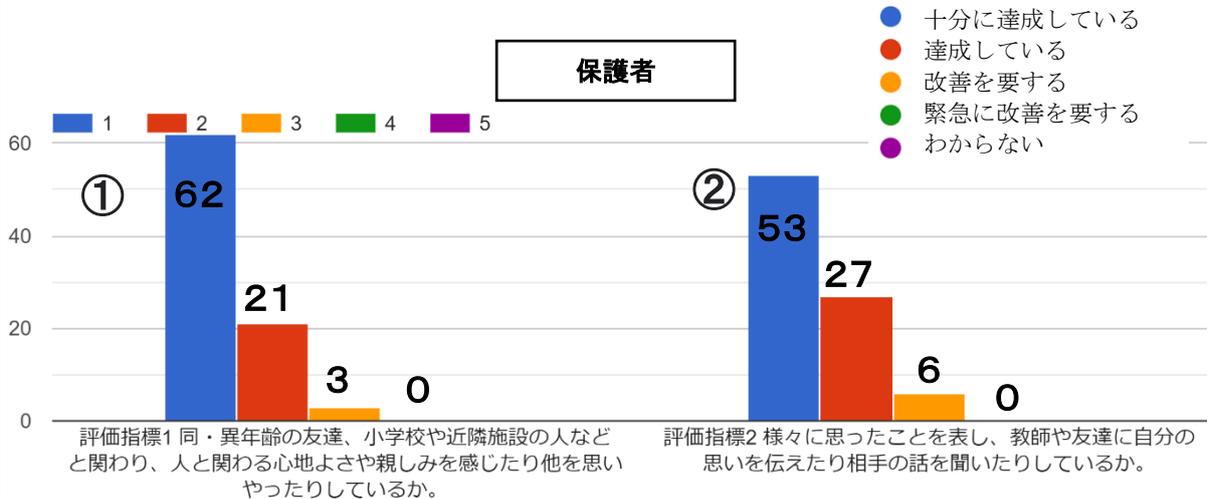
昨年度に引き続き、講師を招聘した運動遊びを計画的に実施することで、教員の指導の幅が広がり、幼児の運動遊びへの興味・関心や多様な動きを引き出すことができた。加えて、講師による親子体操教室を実施したことで、親子で一緒に体を動かす楽しさや大切さを保護者が実感できたと考えます。

今後も、幼児が必要感をもって自分から生活に必要なことに取り組めるよう工夫していく。また、家庭と協力して、幼児の運動習慣の定着、体力の向上を図れるよう、幼児期に必要な体の動きや運動遊びの意義、親子体操を紹介したり、親子体操の機会を増やしたりする。

重点目標3 自他共に大切に思える幼児の育成

評価指標①同・異年齢の友達、小学校や近隣施設の人などに関わり、人と関わる心地よさや親しみを感じたり他を思いやったりしているか。

評価指標②様々に思ったことを表し、教師や友達に自分の思いを伝えたり相手の話を聞いたりしているか。



保護者・教員それぞれに、①②ともに「十分に達成している」「達成している」を合わせた割合が9割以上を占めている。

教員は、園内の同・異年齢の関わりに加えて、小学生や保育園児、高齢者施設の方など、多様な年齢や立場の人と直接関わる体験を通して、人と関わる力を育むことができたと考えた。また、保護者も、幼児の姿から、一人一人の発達に応じて、自分の思いや考え、感じたことを表したり、友達と関わって遊びや生活を楽しんだりしていることを実感していると思われる。

今後も、教員一人一人が、評価指標にあるような幼児の姿を明確にイメージし、降園時など保護者と対面して直接話ができる機会や保護者の参画の機会を十分に生かし、理解促進に努める。また、一人一人を大切に思いやったり関わりを楽しんだりする教師の姿が、幼児の育ちにつながることを念頭に尽力する。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者による全体評価は、全ての項目で「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせて9割近い数値となっており、16項目中11項目が昨年度より高い評価となった。保護者は園の教育を理解し、幼児の成長を共有しながら、家庭と園がともに取り組む体制ができているものと捉える。

今年度の教育全体を通して、幼児は主体的に遊びや生活に取り組むことができているものと考えられる。今後も、教員自ら意欲的に探究し、指導力向上、教育内容の改善充実に努めながら、幼稚園が、小学校・保育園・こども園・地域・未就園児とのつながりの中核となり、地域の幼児教育のセンター的役割を担っていけるようにしていきたい。

また、今年度大切にしてきた、保護者と地域を積極的に教育活動に取り入れ、教育内容の幅を広げる、開かれた教育の推進について、親子体操教室や行事ボランティアなど、保護者の力を活用できた。また、高齢者との交流や園外保育を通して、地域とのつながりをもつことができた。さらに、未就園児の保護者向けに施設開放を毎月開催し、在園児との交流の機会も設けるなど、大きく前進することができた。引き続き、いつも幼児を真ん中にしながら、伝えるべきことは伝え、相談しあい、園と家庭とで一緒に子どもたちを育てていく意識を、教員も保護者もともに高めていく。また、ルクミーでのタイムリーな情報発信や参観のポイントを明確にした幼稚園公開、教育活動に保護者が参画する機会を充実させ、幼児の育ちの実感、教育内容の理解促進を図っていく。

3 全体考察と今後の改善方策

◎教育内容の充実

園内研究の機会を活用し、幼児の主体的・探究的な学びの充実に、教員自ら「やってみよう」と意欲的に探究し、的確な幼児理解に基づく、興味や発達を踏まえた環境、活動の選択、教育内容を改善し、指導力の向上に引き続き努めていく。

◎保護者の参画、連携の強化

保護者が教育活動に参画する機会を増やし、幼稚園教育の理解推進を図っていく。幼児の成長を共有しながらともに育てる意識を高め、保護者も幼児の発達を理解し、子育ての楽しさを味わい、親としての喜びを感じられるようにしていく。

◎開校90周年・開園65周年行事の充実

開校90周年・開園65周年の節目にあたり、併設小学校や家庭、地域と連携をさらに強化して、園内外の様々な人や物との関わりを工夫した、開かれた教育を推進して、幼児の経験の幅を広く豊かにするとともに、月島・晴海という地域への愛着形成、教育の質の向上に尽力していきたい。